

## いよいよ最終回

こまのこま  
Vol.100  
ショッキング

Kōhō shocking



あびる たかひろ

## 阿比留 孝洋さん

## ●プロフィール

32歳 美津島町難知出身、在住。対馬高校卒業後、福岡にある電気系専門学校に進学するも、卒業まで3か月を残し中退。19歳で帰郷、家業に就く。家業は、祖父の代に始めた衛生関係の仕事を手伝い、父の代で法人化、設備関係の仕事も加わり事業を拡大している。現在、株式会社CICみつしま専務取締役。中学時代からバスケットボールを始め、高校からは美津島町の社会人バスケットボールチームで活躍。仕事も遊びも体を動かすことが好きという活動派。ご両親と奥様、3人の娘との7人暮らし。

## ○学生時代から活動的でいらっしゃるようですね。

とにかく動いているほうが好きです。自然が好き、海が好き。20代はしょっちゅう海に行っていました。釣りも泳ぎも、ジェットスキーやウエイクボードもします。夏が好き!!って感じです。でも、サーフィンだけは無理でした。もういい、って感じ(苦笑)。教えてくれる人がいたんですけど、何も教えてもらわないままについていったら、波は来るわ溺れるわ、塩水飲むわで。最近行けてないですけど、遊び場がすぐ近くなので天国ですよ。でも、危ないなと思ったらすぐやめる。見極め良い(笑)。やる時はやる、抜く時は抜く。バリバリ仕事して、バリバリ遊びます。○ご長男とうかがいましたが、学生の頃将来の予想図はお持ちでしたか？

僕は人に使われるのが好きじゃなくて、人の上に立つ仕事がしたいと高校生の頃から思っていました。いつかは家業につかなくてはい思っていました。専門学校を辞めて、目標もなく帰ってきて家の仕事に就いてしまった、というのが本当のところ。仕事で「若造が」って言われるとカチンときて、なめられんように結果を残してやる!とか思っていましたね。ターニングポイントは、結婚前。ある資格を取った時です。勉強は得意ではないほうだったので、しっかり勉強して自分の力で資格を取ったことが、自分自身すごく自信になりました。

○対馬ならではの人の繋がりがあって、あると思うのですが。

ですね。対馬って、仕事もプライベートも、繋がりがないとやっていけないと思います。大変なことのほうが多いかも(笑)冗談ですけど。考えが合わなくてぶつかることもあると思いますが、そんなこと気にしてたら面白くないですからね。商工会青年

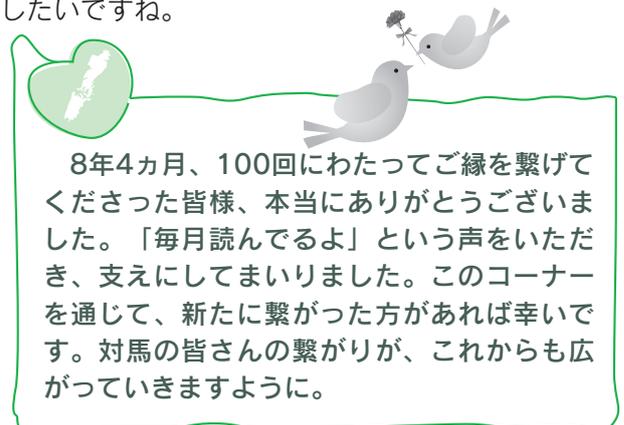
部の活動にも参加しているんですが、いろんな人と付き合っていると、様々な考え方を聞く機会があります。人材に恵まれているなあと思います。

## ○その繋がりの中で影響されたことはありますか？

福岡に住んでいる先輩と話をしていた時、そのしっかりした考えに「いつの間にこんなすごい人になったと!？」って衝撃を受けたんです。「自分は何も考えとらんかった、世の中こんな!?」って。僕は物事をズバズバと言う方ではあるんですが、自分の意見を出すことが自信になるんだと気づいて、思ったことを言えるようになりましたね。

## ○美津島生まれの美津島育ち。地元について思うことは？

町の大きさが、人と人がぱっと集まれる、ちょうどいいサイズだと思えますね。良い話も、悪い話もすぐに広まるとか、まあそんなこと気にしてたって仕方がない。気の合う仲間と楽しくやっていたら、それでいいと思えますよ。地元で育つと、幼なじみどうし「〇〇兄(にい)」「〇〇姉(ねえ)」って呼び合いますよね。親戚も多いし、みんな仲がいい。そんな仲間の繋がりが、対馬の良いところ。大切にしたいですね。



8年4か月、100回にわたってご縁を繋げてくださった皆様、本当にありがとうございます。「毎月読んでるよ」という声をいただき、支えにしていまいました。このコーナーを通じて、新たに繋がった方があれば幸いです。対馬の皆さんの繋がりが、これからも広がっていきますように。